

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン研究 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	加賀 武見／松浦 泰明			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
デザイン研究におけるコンセプトワークの重要性と発想方法を理解し、実制作への反映をさせることが目的である。発想方法を講義をしていき、それを実際のデザイン制作で使用できるように実習を取り入れて理解度を高めていく。											
到達目標											
複数の発想法とともに問題点を抽出し、リサーチの方法を得て説得力のある実践的なコンセプトを立案するためのプロセスを習得することが目標である。											
授業方法											
授業では教員の講義を聴講すると共に、テーマに沿った内容について理解を深めるために課題制作にも取り組む。デザインする上で必要なコンセプトをしっかりと理解し、制作に役立てられるようにしていく。											
成績評価方法											
試験・課題 60％ レポート・試験・課題を総合的に評価する 成果発表 20％ 授業内容の理解度を確認するために実施す 平常点 20％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
必要な資料はその都度用意して配布していく。 聴講内容に関してしっかりと記録すること。 講義と実習を合せて進めていく。 授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	デザイン対象の把握：クライアントの要求の理解、開発の目標の確認・・・										
第2回	コンセプト策定：製品（プロダクト）の方向性を定める										
第3回	リサーチ：事例研究、観察（オブザベーション）・・・など										
第4回	デザインコンセプトの策定：デザインの方向性を定め、企画、戦略										
第5回	アイデアの展開：ブレインストーミング、肯定的意見交換、アイデア連結複合										
第6回	最終案の決定：デザイン案のスケッチ、図面、模型、試作する										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン研究 2	
第7回	プレゼンテーション：クライアントに以上の成果を示し、了解を得て製品化、商品化、発売へ
第8回	デザインコンペティション：コンペの種類を知り、応募から受賞のコツを学ぶ
第9回	デザインアワード：アワードの種類、世界的に評価されているデザインのポイント
第10回	デザイナーとしてのキャリア：就職後の進路、今後の可能性
第11回	インハウスデザイナー：企業でデザイナーとして働くこと
第12回	開発・量産：デザインした商品が市場に出るまで
第13回	就職活動のプレゼン・インターンシップ：全体の流れ、業界別情報
第14回	ポートフォリオのプレゼン：作製のコツ、採用側の評価基準
第15回	プレゼンスキルアップ：日々行うべきトレーニング